

鶴が丘だより

今月は、先月に引き続き、家族教室・講演会の模様をお送りします。

2022年度 病院家族教室・講演会 ②

支える人を支える

◎ 専門家の立場から
白梅学園大学准教授
西方 規恵

私は、1978年190年まで当院に勤務したのち、現職で介護福祉士の養成教育に携わっています。

本歳を重ねて変化すると

年齢は、皆様も私も、順風満帆な生活の方も病気を抱えている方も、平等にとっていきまします。この変化は穏やかで気がききに

くいのものです。また、経済的・社会的・身体的な変化とともに、定年や身近な方の他界など、精神的な変化もあります。



介護をされる方へ

ケアをされる方との差、倒れは、深刻な課題です。まずは、健康診断等を定期的にやりこむことが大切です。特に、勤務者は会社等で毎年一斉に行われ、手前が、主婦（夫）層や退職後の方は、忘れがちになりがちです。定期的な受診に加え、運動や休養を適度に取るのが介護を続ける上でいくことが重要で、介護をする方が頑張りすぎた結果、体調が悪化したとき、残された病気を障害のある方はどうするかが、を考えると、これとは大切です。

本元気がうちに：

これからの生活をどうしていくか、家族等と話し合ったりおきましよう。住居や経済的なことなどは、要介護状態とより差は、追いつくから考え始めるのには、灯心か難しくなり入所する際、最新施設のように週ごしにたいか、どのようにならぬかを、確認していきましょう。

介護保険サービス

高齢とより利用でき、介護予防サービスなどもあります。分かりづらく身近に感じないかもしれませんが、いざ申請をするとなると、医師の意見書や認定調査などがあり、認定まで1ヶ月程度かかります。これは元気で、システムについて知っておくこと、相談できる場所を調べ、準備が大切です。

ある日の
鶴が丘

新しい先生も
ご紹介いたします

丸岡慎太郎先生



東京生まれ、東京育ちです！

農学部で生命科学を専攻していましたが、より身近な人のこころに興味を持ち、医学の道へ進みました。水泳やテニスをしていました。子どもとの公園通いが日課です。お気軽にお声かけください。よろしくお願いいたします。

ご家族と同居し作業所に
通い、仕事を目標として
います。しかしお父様
が病気になり、心配が家
から離れられなくなり、
ひきこもってしまわれま
した。

① 普段の診療から
診察場面では、患者様
や御家族様から様々なお
話をいただきます。
Aさんの場合

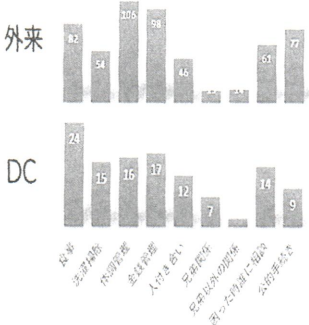
① 普段の診療から

おふたりのお話より まとめ
①むりはしない できることをできる範囲で
②準備はできるだけはやめに 専門家もいます
→最後に、よく遭遇するケースを
いくつか紹介します



了。まとめ
院長 佐藤 晶子
Aさんと西方さんのお
話のポイントは日ムリ
はしない、できること
でできる範囲で早くに
備はできるだけ早くに
時には専門家を頼りま
しょうと頼りましょ
う。

独り暮らしで心配なこと



ご実家から呼び戻され
同居する方もいらっしゃる
います。個人差はあるも
の、頼りになる介護の
応援者になつてくれる可
能性もあります。

グループホームに入所
中の方で、お父様と不仲
で、あまり口を利くこと
もなれない関係で、お
父様が病気になつてから
トイレの付き添いや風呂
の見守りを自然と手伝う
ようになつてきました。

★Cさんの場合
病状は、隠され方が
不安です。ある程度の見
通しは伝えましょう。早
めに知る方が、時間をか
けて受け入れられます。
その上、お父様が日常
を認識して過ごしまし
ょう。

〈文責 高野・宮尾〉

当院では、ご家族様向
け心理教育プログラム
を丘の上の家族のつどい
を開催してまいります。興
味のある方は、スタッフへ
お声かけください。

③親も楽しむ・生活を大
事にする(家族が生活を楽
しむ姿を見せるのは、実は
とても良い学びとなりま
す)

②お金より人を残す(本
人を支援者に会わせてお
くのはとても有効)

4. さいごに
外来アソートで、持
来もレビとりに、た
心配なことには、何
問したところ、デイ
通所中の方の不安が
い結果として、日頃
相談できるところと人
ることは大切ですよ。

医療法人社団 鶴永会
鶴が丘ガーデンホスピタル
TEL:044-988-3121
東京都町田市三輪緑山2-2133-1
長津田いこいの森診療所
TEL:045-507-7656
神奈川県横浜市緑区長津田4-11-14



5類感染症移行後も、
ご協力をお願いします

④メンツ捨てれば
気楽にできる

⑤行きついたら
見方を変える

今月の...
いろはカルタ

